

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型インフルエンザの影響で一時的に来客数が減ったが、方向性としては上向き傾向となっており、客の購買意欲も徐々に増している。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	単価の動き	・定額給付金の給付効果で、年配客が友人と来店するケースが何件もあった。高額品を購入するわけではないものの、平均単価が久しぶりに伸びている。物が動いた感があるのも久しぶりである。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・店舗の改修工事や不況による影響に加え、新型インフルエンザの感染拡大もあったため、1週間前までは最悪の状況であったが、ここへきて来客数が回復している感がある。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・新型インフルエンザの影響を除けば、15日までは徐々に前年並みの売上を確保することができた。特に、天候の良かった影響もあって夏物商材が動いている。
		百貨店（婦人服担当）	販売量の動き	・販売量全体では前年比で2けたのマイナスとなったものの、3か月前に比べて一般の商品は売行きが大きく改善している。
		スーパー（経営者）	それ以外	・今月は新型インフルエンザ特需で盛り上がっている。神戸や大阪での感染確認以降、マスクや衛生関係はもちろん、米やラーメン、パスタなどの備蓄用商品のほか、おにぎりや弁当といった子どもの昼食用商品が非常に伸びている。
		スーパー（店員）	お客様の様子	・特売の日が多くなったので来客数が増えている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・環境対応車に対する優遇税制でハイブリッド車の人気はかなり高まっており、来客数、受注数共に増加している。ただし、販売量の絶対数としてはまだまだ少ない。
		高級レストラン（支配人）	販売量の動き	・例年は販売量の伸びる時期であるが、新型インフルエンザの影響でキャンセルが増えている。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・2か月前から客単価は横ばいであるが、来客数が前年比で5%ほど伸びており、売上は約10%の増加となっている。
		その他サービス〔ビデオ・CDレンタル〕（エリア担当）	販売量の動き	・最悪期を抜け、販売量の前年比は前月よりもかなり改善している。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・客の購入意欲が上昇している。今年に入って動いていた郊外の低価格物件に加え、5千万円を超える物件にも動きが出てきている。
		住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・マンション市況も現状が底であるとの認識が広がり、一部のデベロッパーでは新たな事業用地の取得に向けた動きが活発化している。
	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	お客様の様子	・不動産の売買取引の事例が、多少は増加の傾向にある。	
	変わらない	一般小売店〔事務用品〕（経営者）	販売量の動き	・新型インフルエンザの影響でマスクの販売が急激に伸び、普及品は品切れ状態となっている。補充がうまく進まなかったため、売り逃しにつながっている。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	お客様の様子	・先月と同様に悪い状況が続いた上に、新型インフルエンザの影響で客足が遠のいている。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	お客様の様子	・販売数や来客数、客の様子は悪化傾向が続いているものの、数か月前のように更に悪くなる感はない。ただし、良くなる実感もなく、客の間でも購買意欲は高まっていない。
		一般小売店〔野菜〕（店長）	来客数の動き	・今月は、新型インフルエンザの影響で来客数が激減している。
		一般小売店〔雑貨〕（店長）	販売量の動き	・販売量が低迷したまま変化がない。

一般小売店 [酒] (店員)	販売量の動き	・高額商品は売れないが、買得感のあるセット商品が売れ始めているなど、客の購買意欲の高まる兆しが出てきている。
一般小売店 [菓子] (営業担当)	お客様の様子	・客からは、新型インフルエンザの影響で販売量が減少しているとの声がよく聞かれる。やはり、人が動かなければ物も動かない。
一般小売店 [カメラ] (販売担当)	お客様の様子	・客からは、高速道路料金引下げで渋滞が増えたため、行楽に出掛ける予定が立たないとの声が聞かれる。旅行に出掛けた客も、現地で過ごす時間が短く、写真を撮る余裕もないため、プリント需要に悪影響が出ている。
百貨店 (売場主任)	お客様の様子	・ギフト関連に堅調な商品があるほか、自家需要の動きにも回復の兆しがあり、3月が底であったと感じている。ただし、今月中旬以降に新型インフルエンザの影響が出始めてからは、来客数が大きく減少している。話題の催事は客の動きもまだみられるが、それ以外は一転して厳しい状況となっている。
百貨店 (営業担当)	お客様の様子	・5月中旬から中元や進物商品の早期受注を行っているが、価格面での特典や粗品も付けているものの、受注は今一つ芳しくない。
百貨店 (店長)	販売量の動き	・販売数量の苦戦に加え、新型インフルエンザの影響で来客数が激減した。その後沈静化するなど、影響は一時的であったが、今月は直撃を受ける形となっている。
スーパー (経営者)	それ以外	・消費者の節約、低価格志向は全く変わらない。
スーパー (店長)	お客様の様子	・売上は前年比で減少が続いているものの、直近の3か月は悪化が進んでいない。客の様子も節約志向や環境志向がトレンドとなっており、食品を中心に回復傾向にある。
スーパー (店長)	来客数の動き	・新型インフルエンザの影響で、備蓄用のめん類や缶詰、レトルト食品、水などが動いている。マスクの販売量も10～24日の2週間で異常な数値を示している。ただし、全体的には来客数、客単価共に悪化するなど、厳しい状態である。
スーパー (店長)	単価の動き	・来客数は横ばいであり、買上点数は増加傾向にあるものの、1品単価や客単価の低下によって売上が減少している。
スーパー (店長)	単価の動き	・必要な商品、緊急性の高い商品ですら値下がりが続いており、それ以外の商品も動きが極めて弱い。機能や性能の明確な商品以外は、購入がほとんどみられない状況となっている。定額給付金の給付や省エネ家電のエコポイント制度についても、消費を喚起するかどうかは不透明である。
スーパー (企画担当)	販売量の動き	・既存店では、売上が前年並みを維持できている店舗が増えている。
スーパー (経理担当)	販売量の動き	・新型インフルエンザによる特需はあるものの、一過性の動きにすぎず、客の生活防衛意識が強い傾向は変わっていない。
スーパー (広報担当)	販売量の動き	・新型インフルエンザの影響で、マスクやアルコール消毒液、うがい薬などが前年比で異常なほど動いており、備蓄用の食料品も好調に推移している。一方で、外出を控える人が増えたため、衣料品の売上が落ち込んでいる。
スーパー (社員)	単価の動き	・競合店に比べて低価格品の売行きが良い。客の間では価格を比べて購入する傾向が更に強まっており、他社でも食品ディスカウントストアへの来客数が増えている。
コンビニ (経営者)	来客数の動き	・来客数は増えているが、お茶や揚げ物のついで買いが少なくなっている。
家電量販店 (経営者)	お客様の様子	・家電製品の買換えサイクルが長くなっているほか、低額商品に需要がシフトしている。全体的に客の財布のひもが固い。
乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・優遇税制や補助金の話題性は高いが、ハイブリッド車に人気が集集中しており、全体の販売量はそれほど増加していない。

	乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・米国では大手自動車会社の問題があるほか、国内でも新型インフルエンザの影響で景況感が悪くなっている。
	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・ハイブリッド車が注目を集めているほか、新車購入補助制度もあるため、一時的ではあるものの回復感が出てきている。
	その他専門店 [医薬品](経営者)	来客数の動き	・新型インフルエンザの感染拡大で、マスクや消毒液、うがい薬などは一時品切れの状態が続いた。現在は落ち着いており、来客数も通常に戻っている。
	その他専門店 [医薬品](店員)	お客様の様子	・今月は報道機関からの健康に関する問い合わせが非常に多い。特に、新型インフルエンザ関連の問い合わせが増えている。
	その他専門店 [スポーツ用品](経理担当)	販売量の動き	・新型インフルエンザの影響で来客数、売上共に大幅ダウンしたものの、一時的な動きにとどまる。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型インフルエンザの影響もあって、外食を避ける客が増加している。
	一般レストラン (スタッフ)	単価の動き	・消費者が外食を控えており、客単価、来客数共に悪化している。
	都市型ホテル (スタッフ)	それ以外	・新型インフルエンザについて報道されるまでは、客室売上、宿泊数共に前年を上回るペースであったが、報道後は近隣企業の出張キャンセルや宴会や会議の中止により、売上が大きく落ち込んでいる。
	都市型ホテル (マネージャー)	来客数の動き	・月中旬までの宿泊、宴会、レストランの来客数をみる限り、今月は少なくとも悪くはなっていない。
	タクシー運転手	競争相手の様子	・周辺企業のタクシーの利用回数が大きく減っているほか、今月は新型インフルエンザの影響で悪化に拍車がかかっている。夜は外出が控えられている一方、タクシーの台数は増えているため、大変な状況となっている。
	通信会社(経営者)	来客数の動き	・携帯電話業界は買換えサイクルの長期化に適応してきた感がある。販売数は一昨年と比べてやはり大きな開きがあるものの、市場はやや落ち着いた印象である。
	通信会社(社員)	販売量の動き	・当社サービスへの加入者数の伸び自体は、少し止まってきた感がある。エコポイント制度が実施されるのを前に、デジタル家電の買い控えが進んでおり、年末からの伸びが止まっている。
	通信会社(企画担当)	販売量の動き	・相変わらず良い話は聞かれず、深刻な状況に大きな変化はない。
	通信会社(企画担当)	お客様の様子	・好転する兆しを目にするには、まだ少ない。
	その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設](企画担当)	来客数の動き	・ゴールデンウィークの天候はまずまずであったため、来客数も前年並みの水準は確保できている。高速道路料金引下げの影響はプラスマイナスゼロであるが、商圏内の人の動きは変わってきた感がある。
	住宅販売会社 (経営者)	単価の動き	・土地や住宅については、価格を下げれば流通在庫が消化できる状況ではなくなっている。一時は値下がりによって市況が良くなったものの、その後は消費者がついてきていない。
	住宅販売会社 (経営者)	単価の動き	・客の不動産購入意欲にさほど変化はなく、物件価格も下げ止まっていない。
	住宅販売会社 (総務担当)	お客様の様子	・新型インフルエンザの影響で客の動きが悪くなり、契約までの時間がより長くなっている。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	それ以外	・セールの前倒しによる売上増を期待したが、依然として厳しい状況である。
	一般小売店 [花](経営者)	販売量の動き	・昨今は経費削減により、企業への定期的な納品が減少している。母の日で売上は多少増えたものの、新型インフルエンザの影響でイベント関連の納品キャンセルが続出し、売上の減少に拍車がかかっている。
	一般小売店 [衣服](経営者)	来客数の動き	・今月は売上が前年比10%減で推移していたが、下旬になって予想以上に新型インフルエンザの影響を受けている。影響が一番少なかったのは路面店舗であるが、ターミナル型の店舗や郊外のショッピングセンターでは売上が20~30%減となっている。

一般小売店〔鮮魚〕(営業担当)	来客数の動き	・新型インフルエンザの影響を直接的に受け、来客数は前年比で15%減となっている。
一般小売店〔家具〕(経営者)	来客数の動き	・新型インフルエンザの影響で、来客数が減少している。
一般小売店〔家具〕(経営者)	来客数の動き	・当店は土日、祝日が営業の中心であるが、高速道路料金引下げで週末は他県に行く人が増えたため、来客数が減少している。
百貨店(売場主任)	来客数の動き	・新型インフルエンザの影響で、発生から約10日間は来客数が前年比で半減し、売上に影響が出ている。それ以外の期間も来客数の減少が続いているため、厳しい状況にある。
百貨店(企画担当)	販売量の動き	・衣料品は季節商材が動いたため悪化は目立たないが、生鮮食品の動きが悪い。
百貨店(企画担当)	お客様の様子	・新型インフルエンザの感染拡大で来客数が減少している。全体的には回復傾向にあるものの、入店客数ペースでマイナス10%程度の影響が続いている。
百貨店(営業担当)	来客数の動き	・新型インフルエンザが騒がれ始めた中旬以降、来客数、売上が急激に悪化している。一方、優良顧客への訪問販売でも購買意欲が感じられず、低額品の購入も見送られている状況である。
百貨店(商品担当)	お客様の様子	・売上の減少傾向が回復しつつあったものの、新型インフルエンザの影響で客が人ごみを避けた結果、来客数の減少で売上不振となっている。
百貨店(外商担当)	来客数の動き	・新型インフルエンザの影響で、来客数が大幅減となっている。
百貨店(サービス担当)	お客様の様子	・新型インフルエンザの影響で、外出を必要最低限に控える傾向が強まっている。特に、人ごみを避ける傾向があるため、来客数が大幅に減少している。北海道物産展などの催事売上も前年を大幅に下回るなど、大変苦戦している。
百貨店(マネージャー)	販売量の動き	・売上は5月の中ごろまで前年比7~8%減で推移していたが、新型インフルエンザの影響で、5月全体では14%減に落ち込む。
スーパー(管理担当)	来客数の動き	・客単価は上昇したものの、新型インフルエンザの影響が大きく、来客数が月末にかけてかなり減少している。
スーパー(開発担当)	販売量の動き	・中堅の小規模スーパーでは、新聞で報じられているほど食品の売上は伸びていない。
コンビニ(店長)	来客数の動き	・新型インフルエンザの影響で来客数が減少している。インフルエンザ予防関連の商品は売れているものの、品薄で入荷が追いつかないため、売上の増加にはつながっていない。
衣料品専門店(販売担当)	お客様の様子	・ゴールデンウィーク明けから売上が全店で低迷している。新型インフルエンザの感染が拡大した18日以降は、客足が更に遠のいている。
乗用車販売店(経営者)	来客数の動き	・価格査定依頼台数は前年と変わらないが、買取り台数は減少している。
乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・ここ1年間は販売量も悪くなる一方である。ただし、ここへきてハイブリッド車の好調が続いているため、悪いながらも若干下げ止まった感がある。
その他専門店〔食品〕(経営者)	販売量の動き	・新型インフルエンザの影響で販売量が悪化している。
一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・今月始めは3周年記念キャンペーンで来客数は増えたが、新型インフルエンザの影響で商店街に人がいない状態となったため、全体では昨年に比べてかなり悪くなっている。
一般レストラン(経営者)	それ以外	・新型インフルエンザの影響そのものは予想ほど大きくなかったが、ボーナスの減少で客足に影響が出ている店と、あまり出ていない店の差が大きい。全体的には、消費に対する心理的な悪影響が出ている。
一般レストラン(スタッフ)	来客数の動き	・新型インフルエンザの感染で今月は大打撃を受けている。
観光型ホテル(経営者)	来客数の動き	・新型インフルエンザの影響で来客数が激減しているほか、予約の取消しが続いており、非常に悪い状況である。

	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・当ホテルは大阪、神戸地区からの客が多いため、新型インフルエンザの風評被害で団体客のキャンセルが相次いでいる。
	観光型旅館（団体役員）	来客数の動き	・今月中旬からの新型インフルエンザの影響で、キャンセルが相次いでいる。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・今月中旬までは好調に推移していたが、新型インフルエンザの感染拡大で来客数が大きく減少した。今月だけで宿泊・宴会・レストランの予約キャンセル額は、売上見込みの10数%に達している。宿泊では国内外の観光利用がほぼゼロとなり、ビジネス客も半減している。レストランにおいても、買物客のランチ利用が減少しているほか、夕食ではディナー利用がゼロという日もある。
	旅行代理店（店長）	来客数の動き	・新型インフルエンザの感染拡大による外出の自粛で、旅行業界は多大な悪影響を受けている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・新型インフルエンザの影響で大変であり、流し営業をしても乗客が全く見当たらないなど、悲惨な状況となっている。
	テーマパーク（職員）	お客様の様子	・新型インフルエンザの影響で客足が止まり、大打撃となっている。
	競輪場（職員）	単価の動き	・今月の客単価は10,349円と、3か月前の10,989円よりもやや悪くなっている。
	その他レジャー施設 [イベントホール]（職員）	来客数の動き	・新型インフルエンザの影響で中止や延期となったイベントの対応に追われている。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・例年、ゴールデンウィーク後に売上は減少するが、今年は新型インフルエンザの影響でより一層悪化している。
	その他住宅 [展示場]（従業員）	来客数の動き	・来場客数が若干減少気味であり、特に最近では新型インフルエンザの影響で、先週に比べて半減している。
悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型インフルエンザの影響で15日過ぎから人出が激減しており、この間は売上も40%減となっている。
	一般小売店 [珈琲]（経営者）	競争相手の様子	・競合各社による営業活動の動きが鈍くなっている。
	一般小売店 [菓子]（経営企画担当）	販売量の動き	・売上前年比を上位5店舗の平均で見ると、関西地区では5月が85.7%で、2月が85.6%となっているが、神戸地区では、5月中旬からの新型インフルエンザの影響により、神50%以上の落ち込みとなっている。
	一般小売店 [精肉]（管理担当）	販売量の動き	・新型インフルエンザによる影響は計り知れない。消費者が外食から内食へシフトしたことで伸びた部門と、悪影響を受けた部門の間で、バランスが取れるほど甘くはない。
	一般小売店 [花]（店員）	単価の動き	・例年の母の日に比べ、客単価が大きく低下している。
	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・新型インフルエンザの影響は非常に大きく、入店客数はここ10年ほどのなかで2番目に少ない水準となっている。
	スーパー（店長）	競争相手の様子	・消費者の買い控えに伴う競合各社の価格競争により、販売価格の下落が進んでいる。衣料品では商品単価が前年比で5%下がっているものの、販売点数はなかなか伸びていない。売上は婦人、子ども関連を中心に、前年比15%減と大きく減少している。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型インフルエンザで近隣の予備校や専門学校が1週間休校となったため、来客数が大幅に減少している。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・新型インフルエンザによる来客数の減少のほか、タスポ導入から1年が経過しつつあることで、売上の前年比は非常に厳しい状況となっている。
	コンビニ（マネージャー）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク中やその後も、ランチ需要の弁当類の販売数が前年比で2けた減となっている。近隣の競合店の販売状況も同様で、例年この時期に大きく伸びる冷しめんも、前年の3割減と大きく落ち込んでいる。客単価を支えるこれからの商品が悪いため、全体の客単価が低下している。

衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・神戸で新型インフルエンザの集団感染が始まって以降、来客数が通常の2～3割に落ち込んでおり、非常に厳しい。
衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・新型インフルエンザの報道が始まってから、ショッピングセンターの来客数は約4割減少している。また、売上も同じく3～4割落ち込むなど、最悪の状況となっている。
衣料品専門店 (販売担当)	販売量の動き	・新型インフルエンザの影響で来客数が減少している。売行きも悪化しているため、商品の在庫が減らず苦戦している。
乗用車販売店 (営業担当)	お客様の様子	・客からは仕事がないといった声が聞かれるほか、自営業の客には店を閉めた人もいる。
住関連専門店 (店長)	販売量の動き	・新年度に入り、法人客からの受注が止まっている。今年度の物品購入の予算はどの法人もかなり削っているほか、新型インフルエンザの影響で全体の来客数も減っている。
その他専門店 [宝石](経営者)	お客様の様子	・客は生活必需品や食料品といった必要不可欠な物しか買わなくなっている。当社のような宝飾品店では修理の需要のみであり、買取りも依然として低調である。
その他専門店 [宝飾品](販売担当)	販売量の動き	・販売員が減ったことで客に対応しきれず、価格の高低にかかわらず売り逃しが発生している。
一般レストラン (管理担当)	来客数の動き	・新型インフルエンザの影響で予約のキャンセルが増えており、当日の来客数も減っている。
一般レストラン (経理担当)	来客数の動き	・新型インフルエンザの感染が短期間で終息に向かえば、影響は最小限にとどまり、沈静後の反発にも期待できるが、それまでの売上の急落は避けられない。
スナック(経営者)	来客数の動き	・新型インフルエンザ騒動で店が開店休業状態となり、今月の売上は最悪となっている。
観光型ホテル (経営者)	それ以外	・新型インフルエンザの風評被害を受け、5、6月の予約がほとんどキャンセルになっている。好不況の次元の問題ではなく、地域全体が倒産の危機に直面している。
観光型旅館(経営者)	お客様の様子	・今はオフシーズンであるため客を集めるのに苦労したが、貴重な客1,000人以上が新型インフルエンザでキャンセルとなっている。団体客だけでなく個人客の間でもキャンセルが広がっており、6月の予約も止まっている。
都市型ホテル (支配人)	販売量の動き	・景気の低迷に加え、新型インフルエンザによる集会の中止などの影響で、売上が減少している。
都市型ホテル (役員)	それ以外	・景気の低迷で来客数、売上が大幅に落ち込むなか、新型インフルエンザの感染拡大により、キャンセルが相次いでいる。売上は前年の60%と壊滅的な状況である。
都市型ホテル (営業担当)	来客数の動き	・厳しい状況が続くなか、新型インフルエンザの影響で更に悪化している。5月は宿泊や宴会、レストラン共に、売上が前年比で30%減と深刻であり、手の打ちようがない状態となっている。
旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・新型インフルエンザの影響でキャンセルが増え、新規申込みは激減している。受付件数は前年比で50%を若干上回る程度であり、米国同時多発テロやSARSのときよりも落ち込みが激しい。
旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・新型インフルエンザの影響で不要不急の外出が控えられ、予約のキャンセルも増えたことで売上が減少している。
旅行代理店(広報担当)	お客様の様子	・燃油サーチャージの低下や円高で上向きかかっていた旅行需要が、全く止まってしまっている。新型インフルエンザの影響がどこまで拡大するのか予想が立たず、客からはキャンセルや延期の依頼ばかりで、新しい申込みはほとんどない。
タクシー運転手	お客様の様子	・客の動きはもちろん、全体的な雰囲気が悪くなっている。
タクシー運転手	来客数の動き	・今月は景気の悪化傾向が更にひどくなっている。特に、大阪や神戸は新型インフルエンザの影響により、街の活気が明らかになくなっている。

		タクシー会社 (経営者)	お客様の様子	・新型インフルエンザの感染が神戸で拡大したため、今月の第3週は売上が前年比で30%以上減少した。既に回復宣言が出されて売上は戻りつつあるが、人が出歩かない状況が続いているため、タクシーの利用が非常に落ち込んでいる。
		通信会社(管理 担当)	それ以外	・携帯電話の販売では、夏商戦向けの新商品は在庫が減少し、品切れが多くなっている。また、新型インフルエンザの影響で、客が繁華街などの人ごみを避ける状況が続いているため、売上は過去最悪となっている。
		住宅販売会社 (経営者)	来客数の動き	・新規の問い合わせ数が明らかに減っている。
		その他住宅[情 報誌](編集 者)	お客様の様子	・各社の悪い決算が出そろったタイミングで、新型インフルエンザの感染が拡大したため、消費者のマインドは更に悪化している。ボーナスの支給額も減少することで、財布のひもはより固くなっており、新築物件のモデルルームへの来訪客にも減少傾向がみられる。
企業 動向 関連	良くな っている	電気機械器具製 造業(企画担 当)	取引先の様子	・現在開発中の商品に対する評価は良好であるが、量産にはもう少し時間が掛かる。
	やや良くな っている	化学工業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・まだまだ良くはないが、毎月確実に売上は回復している。最も悪かった2月は前年比で30%程度の落ち込みであったが、今月は15%減と半分程度まで戻っている。
		化学工業(企画 担当)	受注量や販売量 の動き	・原料価格が低下している一方、製品価格への反映を先延ばししているため、差益効果で収益が改善している。
		金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・2、3月で在庫調整が一応完了し、4月からは生産量、売上が微増に転じているが、まだ本格回復ではない。
		金属製品製造業 (営業担当)	受注量や販売量 の動き	・2、3月を底に自動車関連の出荷量は増えてきている。ただし、その一方で建築関連は低調が続いている。
		電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・取引先の様子や街の様子、雇用情勢などをみても上向いている感はないが、非常に限定的ながら受注量が上向いている。その結果として6月から売上が増加するが、それが継続的なものかどうかは判断が難しい。
		電気機械器具製 造業(宣伝担 当)	受注量や販売量 の動き	・省エネ家電のエコポイント制度による効果もあり、薄型テレビが好調な荷動きとなっている。また、新型インフルエンザの影響で空気清浄機の荷動きが活発である。
		金融業(営業担 当)	取引先の様子	・取引先の自動車部品製造業では、自動車メーカーの在庫調整の一巡により受注が増加している。
		広告代理店(営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・例年、年度始めは広告出稿が手控えられるが、底は4月で終わった感がある。ただし、受注全体が良くなるまでには至っていない。
	変わらない	食料品製造業 (従業員)	受注量や販売量 の動き	・今月は新型インフルエンザの感染が広がったため、外食関係の業務用製品の出荷が止まり、生産量も減少、売上は大幅に落ち込んでいる。一方、家庭用製品は備蓄用などの仮需要が予想されたが、調味料についてはそれほどでもない。
化学工業(管理 担当)		受注量や販売量 の動き	・4月はやや上向いたが、5月は予想に反して低迷している。携帯電話、自動車関連は上向いてきたが、家電、建設関連の不振が続いており、販売量は2月と同じ水準となっている。	
金属製品製造業 (総務担当)		競争相手の様子	・全体的な需要が縮小するなかで競争の激化が続いており、同業各社ではリストラや業務の統廃合を行っている。	
電気機械器具製 造業(経営者)		取引先の様子	・引き合いは若干でも増えつつあるが、受注率が悪い。一方で、取引先は予算を削りながらも、研究開発を活発に行っている。	
建設業(経営 者)		受注量や販売量 の動き	・受注量は相変わらず低水準となっている。	
建設業(経営 者)		受注量や販売量 の動き	・業種によっては底打ちしたような報道もあるが、全く実感はなく、相変わらず厳しい価格競争が続いている。	

	建設業（営業担当）	競争相手の様子	・同業者も発注が取れておらず、前月と同様に仕事が少ない。
	輸送業（営業所長）	取引先の様子	・レンタル用品の出荷管理作業を受け持っているが、新型インフルエンザの影響でキャンセルが続出しており、例年よりも出荷が激減している。
	金融業（支店長）	取引先の様子	・小規模の建売業者では、最近是非常に土地の仕入れが難しくなっている。また、客からの反響はあっても、なかなか契約にはつながらないのが現状である。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・紙媒体、Web媒体共に大手企業が広告を控えており、受注が少なくなっている。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・顧客の中小スーパーでは、4、5月の来客数が減少している。ただし、新型インフルエンザの影響が懸念されたものの、食品スーパーにはさほど影響が出ていない。一方、外出の自粛が呼びかけられたことで、商店街の人通りが明らかに減少しているほか、一部の専門店では、遠方からのインターネット予約であるにもかかわらず、インフルエンザの流行地域の店ということでキャンセルも出ている。
やや悪くなっている	繊維工業（総務担当）	取引先の様子	・催事での1品単価が下がっており、値引きしなければ売れなくなっている。コストの見直しが追いつかない状態で利益が圧迫されている。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月は稼働日が少ないが、一部の顧客を除いて受注の動きは低調となっている。
	出版・印刷・関連産業（情報企画担当）	受注量や販売量の動き	・今月になっても受注の動きは鈍い。輸出向け商品のカタログは少し動き出しているが、国内向けの販促商品は全く動く気配がない。
	金属製品製造業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・今月の売上は損益分岐点を大幅に下回っており、ソーラーパネル関連の部署以外は大幅な赤字となっている。特に、建築関連では過去にない赤字となっている。
	一般機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・この数か月で顧客の状況に大きな変化はないが、当社の受注は落ち込んでいる。
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・住宅着工戸数に下げ止まり感が出てきたものの、設備関係への波及は3～6か月後となる。今は1月ごろの状態が反映されるため、底の状態である。
	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が大きく減少している。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・工事の件数、規模共に前年比で2～3割減であり、商談中の案件も少ない。
	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・新型インフルエンザの影響で客の動きが悪く、景気後退に拍車がかかっている。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・地元の自治体や学校による新型インフルエンザへの対応が気になるようで、一時的に購読が増えたが、継続には至っていない。それにも増して、折込収入が前月よりも更に落ちている。
	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・各ショッピングセンター共に、ゴールデンウィーク中は来客数もまだ多かったが、新型インフルエンザの影響で激減している。
	経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・顧客各社の売上、利益が低迷している。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	受注量や販売量の動き
悪くなっている	繊維工業（団体職員）	受注量や販売量の動き	・世界不況の影響が非常に大きく、受注量は大幅に減少している。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型インフルエンザはあまり関係ないが、市況は相変わらず悪い。
	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・景気の悪化で仕事が入ってこない。
	その他製造業〔履物〕（団体役員）	受注量や販売量の動き	・新型インフルエンザの感染拡大により、関西経済は大打撃を受けている。

		不動産業（営業担当）	取引先の様子	・神戸では新型インフルエンザで観光客が減っているほか、出張で訪れる人も減っており、商店街の各店舗の売上は軒並み半減している。それに伴って賃料引下げの要望も出ており、店舗関係の賃料は下振れが続いている。
		コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型インフルエンザの感染者が確認されてから、主要駅構内の拠点では、来客数が軒並み前年の3～5割減となっている。
		その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型インフルエンザの影響で、関西を中心に西日本の小売店は極端に売上が減少している。
		その他非製造業〔民間放送〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・テレビスポットCMの出稿が激減している。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	周辺企業の様子	・2月は例年の駆け込み需要がみられなかった一方、例年5月はあまり求人需要がないのに対し、今年は徐々に求人が出てきている。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・依然として絶対数は少ないが、3か月前に比べれば民間企業からの求人は徐々に増えている。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・雇用調整助成金制度を利用している企業から、若干持ち直しているという声が聞かれる一方、これから休業を開始する事業所もある。
		民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・5月に入り、一部の大手企業では今年度の採用計画が発表され始めている。昨年ほどではないものの、3か月前に比べれば求人は増えつつある。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・悪化はしていないが、景気の底から上昇に向かっていとはい切れぬ。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人依頼は依然低迷しており、改善の兆しはない。派遣売上も横ばいが続いており、低レベルで推移している状況である。
		求人情報誌製作会社（企画担当）	求人数の動き	・求人数の前年比は、前月と同様の水準で推移している。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	周辺企業の様子	・広告業界は大手企業の赤字決算にみられるように、苦戦を強いられている。当社も新年度以降、売上、利益共に上昇に転じる気配はない。新型インフルエンザによる景気への悪影響も、限定的ではあるが実感している。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・今月に入って求職申込みの急増傾向は落ち着いてきている。求人数も前年の3分の2という低水準ながらも、大きな変動はみられない。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・建設部門の日雇求人数が前年比で50%減と、3か月前と変わっていない。
		民間職業紹介機関（大学担当）	周辺企業の様子	・同業他社では約5割の社員をリストラするなど、人材ビジネスは落ち込んだままである。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・学生からの採用報告が前年に比べて非常に少なく、上向いている感はない。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・求人のために来校する企業数が依然として少なく、学生の内定者数も伸びていない。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・ゴールデンウィーク明けは、例年どおり一般派遣は動いていない。また、IT関連も低迷しており、IT要員は余ったままである。ただし、ゴールデンウィーク明けから大手企業の大型案件が動き始め、人材を集めているところであるなど、明るさも見えつつある。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・売上が前年比で60%程度に落ち込んでいるほか、今後の見通しも立たないため社員の間では不安感が漂っている。また、新型インフルエンザの影響で営業活動も思うように進まないため、ますます厳しい環境となっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・全般的に求人数の落ち込みが続いている。
	悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・景気の底打ちが報じられているが、求人広告の状況は依然として厳しい。さらに、5月は新型インフルエンザの影響で就職説明会を中止した企業もあるなど、状況は悪化している。

	新聞社 [求人広告] (担当者)	それ以外	・景気回復の兆しが全くない。特に、新聞広告出稿では関西の地場産業に元気がない。
	新聞社 [求人広告] (営業担当)	周辺企業の様子	・新聞の求人広告はもちろん、各メディアの求人広告数はかなり低迷している。転職市場のほかパート・アルバイト市場など、全般にわたって求人がない状況で、各メディア共に体制の見直しなどを余儀なくされている。
	職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・新規求職者のうち事業主都合の離職者数は、2か月連続で前年を上回っている。また、求人が減少する一方で紹介件数は過去最高となっているが、1つの求人多数の応募者が集まるため、再就職は厳しい状況にある。